

PRIMAVERA HEATING CABLE

プリマヴェーラ ヒーティング ケーブル



用 途

玄関、風呂洗い場、サウナ等
食堂、事務所、倉庫等の土間
ホテル、ペンション、旅館、幼稚園
学校、病院等の土間
マンションバルコニー
土間コンクリートの融雪用

特 徴

安全性 難燃性の被覆材使用
環 境 排気ガス無し、環境にやさしい
健 康 遠赤外線による健康増進
経済性 メンテナンスフリー、リーズナブルな電気代
耐久性 発熱線の材料は半永久的使用可能
施工性 コンクリート施工前に簡単にセットするだけ

入浴時の洗場のヒートショック防止。
湿式タイプなので安心してお使いいただけます。



ヒーティングケーブル



ヒーティングケーブルユニット

◆ヒータングケーブルユニット仕様

磁気対策型、高耐熱型（105℃）、定格電圧：単相 200V

延長種別は 8 種類、それぞれ 200、250、300W/㎡ 幅 1m 型、及び現場合合わせのフリー配線型があります。

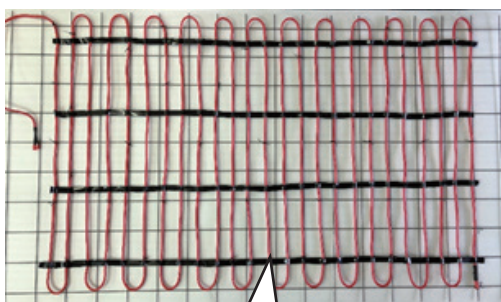
ピッチ	発熱量	型番	延長(m)	電気容量(W)	敷設面積(㎡)
74mm	200W/㎡	CH0016_200	16.67	248	1.3 ㎡
		CH0027_200	27.78	413	2.1 ㎡
		CH0038_200	38.89	578	2.9 ㎡
		CH0055_200	55.56	826	4.2 ㎡
		CH0075_200	75.00	1,115	5.6 ㎡
		CH0097_200	97.22	1,446	7.3 ㎡
		CH0119_200	119.44	1,776	9.0 ㎡
		CH0138_200	138.89	2,065	10.5 ㎡
60mm	250W/㎡	CH0016-250	16.67	248	1.0 ㎡
		CH0027_250	27.78	413	1.7 ㎡
		CH0038_250	38.89	578	2.4 ㎡
		CH0055_250	55.56	826	3.4 ㎡
		CH0075_250	75.00	1,115	4.6 ㎡
		CH0097_250	97.22	1,446	6.0 ㎡
		CH0119_250	119.44	1,776	7.4 ㎡
		CH0138_250	138.89	2,065	8.6 ㎡
50mm	300W/㎡	CH0016_300	16.67	248	0.9 ㎡
		CH0027_300	27.78	413	1.4 ㎡
		CH0038_300	38.89	578	2.0 ㎡
		CH0055_300	55.56	826	2.9 ㎡
		CH0075_300	75.00	1,115	3.9 ㎡
		CH0097_300	97.22	1,446	5.0 ㎡
		CH0119_300	119.44	1,776	6.2 ㎡
		CH0138_300	138.89	2,065	7.2 ㎡
50 以上	フリー配線型	CH0016_000	16.67	248	0.9 ㎡以上
		CH0027_000	27.78	413	1.4 ㎡以上
		CH0038_000	38.89	578	2.0 ㎡以上
		CH0055_000	55.56	826	2.9 ㎡以上
		CH0075_000	75.00	1,115	3.9 ㎡以上
		CH0097_000	97.22	1,446	5.0 ㎡以上
		CH0119_000	119.44	1,776	6.2 ㎡以上
		CH0138_000	138.89	2,065	7.2 ㎡以上

◆ 施工手順

- 1** 断熱材を敷設します。**3種30mm厚**を推奨します。
また、**防水仕様**のものをご採用ください。

- 2** あらかじめ抑えコンクリート（捨てコン）を施工、
もしくは所定の高さのスペーサーブロックを
配置します。

- 3** 写真①、②のように、ケーブルをワイヤーメッシュに
這わせ、バインド線などで固定します。



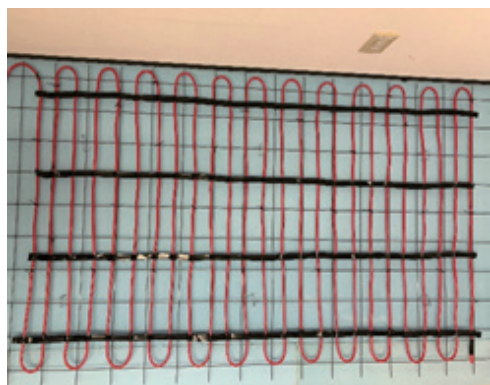
写真①



写真②

※バインド線は
固定後、下に
折り込んで
ください。

- 4** **3** で完成したものを設置します。このとき、
製品の口出し線はコンクリート面から出る
ようにしてください。

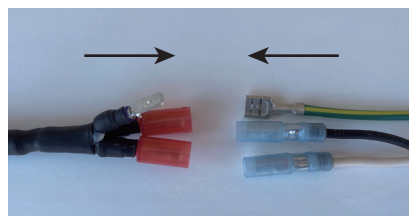


写真③

- 5** コンクリートを施工します。

- 6** 配線工事を行います。
写真④の製品口出し線の差込み端子及び
ファストン端子に、それぞれ付属の電源線及び
アース線を接続します。
接続部分をCD管内に挿入する時、内径22mm管
では挿入できない場合、CD-28管をご用意くださ
い。また、CD管内に水が入らないように防水を確
実にしてください。

写真④

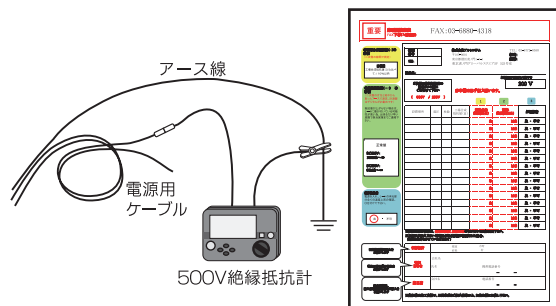


※必ず、電気工事士の有資格者が
おこなうようにしてください。

- 7** コンクリート乾燥後一度通電し、コンクリートに
クラックをいれます。（完成後のクラック防止）
※必ず割れるというものではありません。
クラック防止材も有効です。

- 8** 仕上げ（タイル）を施工します。

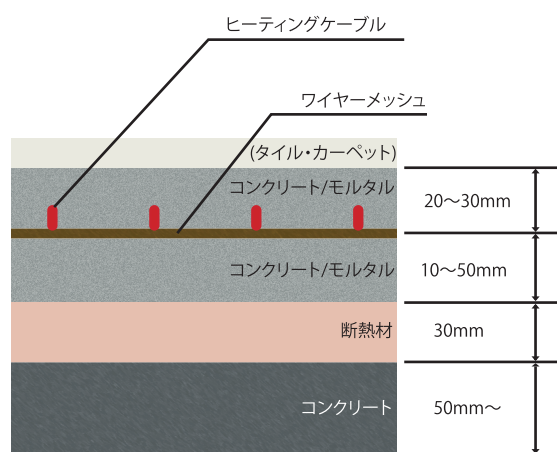
- 9** 完工検査を行います。
製品の絶縁抵抗をメガー（絶縁抵抗計）**DC500V**にて
計測してください。
※2次側配線の片側と対地（アース）間で計測
なお、測定しない側の2次側配線の芯線は絶縁
された状態を保持してください。
次に、昇温を確認していただき、双方の結果を
製品と同梱している「**床暖房検査表**」に記入の上、
当社宛にFAXにて、ご返送ください。



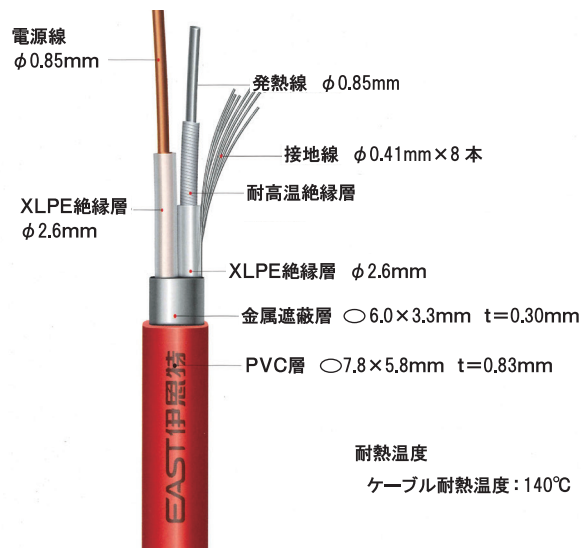
FAX

東京支店 03-6880-4318

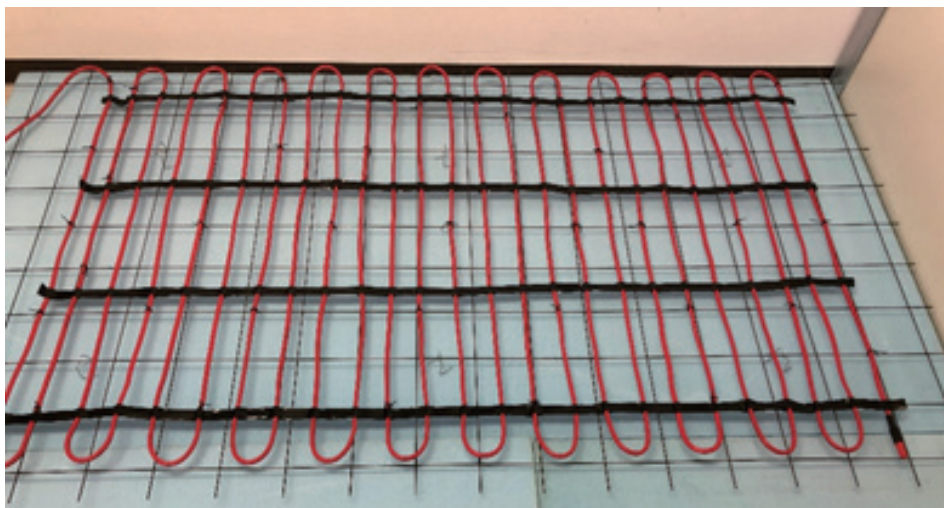
◆ 施工断面図（一例）



◆ ヒューティングケーブル詳細図



◆ ヒューティングケーブル敷設施工状況



床温は、主に室温及びコンクリート厚さに左右されます。コンクリート厚さが60mmの時、床温を30℃にしたい場合、室温20℃の場合は200W/㎡、室温15℃の場合は250W/㎡、室温10℃の場合は300W/㎡のケーブル敷設が目安となります。融雪、ロードヒーティング等は別途検討する必要があります。

尚、微調整は、コントローラの通電制御により行います。

ケーブル発熱部分は、必ずコンクリート中に敷設するようにしてください。口出し線の途中からコンクリート上に出るようにしてください。尚、口出し線と発熱線の境界はケーブルに下図のような「→SPLICE←」の表示があります。

〈SPLICE表示〉



株式会社 アルシステム

<https://www.irsystem.co.jp>

E-mail sales@irsystem.co.jp

大阪本社

〒532-0003

大阪府大阪市淀川区宮原4-2-10 PMO EX 新大阪210号

TEL 06-7712-4335 FAX 06-7657-9778

東京支店

〒105-0001

東京都港区虎ノ門1-3-1 東京虎ノ門グローバルスクエア5F 525号室

TEL 03-6772-8550 FAX 03-6880-4318